ocarcining i As

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number:

04-177990

(43) Date of publication of application: 25.06.1992

(51)Int.CI.

H04N 7/133 G06F 15/66

(21)Application number : **02-303824**

(71)Applicant: NEC HOME ELECTRON LTD

(22) Date of filing:

13.11.1990

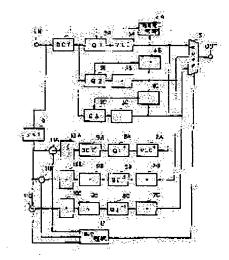
(72)Inventor: FUJIWARA SHIRO

(54) COMPRESSOR FOR PICTURE DATA

(57)Abstract:

PURPOSE: To relieve the load of a reproducing device side by providing a code quantity control means detecting each code quantity of compressed picture data of plural systems subjected to quantization and variable length coding under the variable quantization characteristic and varying the quantization characteristic of each quantization means in a direction to suppress each fluctuation to the compressor.

CONSTITUTION: A quantization output outputted from each of quantization sections 2A-2C is subjected to variable length coding by variable length coding sections 3A-3C and fed to one of three input terminals of a selector 5 as three system of



compressed data. Code quantity control sections 4A-4C detect code quantity of 1st-3rd systems of compression data outputted respectively from the variable length coding sections 3A-3C and revises the quantization characteristic of the quantization sections 2A-2C in a direction of suppressing the fluctuation. Thus, the code quantity is kept almost constant for each system and the load of the reproducing device side is relieved.

LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration] Searching FAJ Fage 2 01 2

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of extinction of right]

Copyright (C); 1998,2003 Japan Patent Office

BEST AVAILABLE COPY

19 日本国特許庁(JP)

① 特許出願公開

② 公 開 特 許 公 報 (A) 平4−177990

@Int, Cl. 5

識別記号

庁内整理番号

❸公開 平成 4 年(1992) 6 月25日

H 04 N 7/133 G 06 F 15/66 330 H

6957-5C 8420-5L

審査請求 未請求 請求項の数 2 (全5頁)

図発明の名称

画像データの圧縮装置

②特 願 平2-303824

②出 願 平2(1990)11月13日

@発明者 藤

司郎

大阪府大阪市中央区城見1丁目4番24号 日本電気ホーム

エレクトロニクス株式会社内

勿出願人 日

日本電気ホームエレク

大阪府大阪市中央区城見1丁目4番24号

トロニクス株式会社

頂

個代 理 人

弁理士 櫻井 俊彦

月 知 :

1. 発明の名称 画像データの圧縮装置

- 2. 特許請求の範囲
- (1) 圧縮対象の原画像データを直交変換する直交 変換手段と、

この直交変換手段の出力を変更可能な量子化 特性のもとで量子化する複数の量子化手段と、

これら量子化手段のそれぞれから出力される 複数系統の量子化出力のそれぞれを可変長符号 化して複数系統の圧縮画像データを出力する可 変長符号化手段と、

前記複数系統の圧縮画像データのそれぞれの符号量を検出しそれぞれの変動を抑圧する方向 に前記各量子化手段の量子化特性を変更する符 号量制御手段と、

前記復数系統の圧縮画像データのそれぞれを 復号して複数系統の復号画像データを出力する 局部復号手段と、 前記複数系統の復号画像データのそれぞれと前記原画像データとの差分を検出し、前記複数系統の圧縮画像データのうち前記検出した差分が最小の復号画像データを発生させるものを選択して出力する出力選択手段とを備えたことを特徴とする画像データの圧縮装置。

(2) 前記複数の量子化手段は、

量子化ステップの変更が可能であると共にこの量子化ステップを前記符号量制御手段の制御に基づき変更する第1の量子化手段と、

空間高調波の次数のうち所定の次数よりも高いものを量子化の対象から除外することが可能であると共にこの所定の次数を前記符号量制御手段の制御に基づき変更する第2の量子化手段と、

量子化ステップを空間高調波の次数の増加に応じて変更可能な割合で増大させることが可能であると共にこの増加の割合を前記符号量制御手段の制御に基づき変更する第3の量子化手段のうちの少なくとも二つを含むことを特徴とす

特開平 4-177990 (2)

る特許請求の範囲第1項記載の画像データの圧 缩装置。

3. 発明の詳細な説明

(産業上の利用分野)

本発明は、CD-ROMなどを記録媒体とする 動画の記録・再生システムなどに利用される画像 データの圧縮装置に関するものである。

(従来の技術)

現在、ゲーム用や教育用などの動画を符号化に よって圧縮しながらCD-ROMなどの大容量記 録媒体に記録し、再生する記録・再生システムが 開発中である。

データ圧縮のための符号化方式の典型的なもの として、DCT (離散コサイン変換) などの直交 変換と、量子化と、可変長符号化とを順次組合せ て行うハイブリッド符号化方式が知られている。 このハイブリッド符号化方式の詳細については、 必要に応じて、本出顧人の先顧に係わる「DCT - VQ圧縮画像データの伝送方式」と題する特願 昭62-913850号や、「DCT圧縮動画デ

- 夕の記録・再生方式」と題する特顧平2-18 4242号の明細書などを参照されたい。 (発明が解決しようとする課題)

上記従来のハイブリッド符号化方式では、画面 の状態に応じたデータ量の変動に伴いフレームご との圧縮データのピット量が変動するので、再生 の際に比較的大容量のバッファが必要になると共 に、バッファリングのための複雑な制御が必要に なるという問題がある。

(課題を解決するための手段)

本発明に係わる画像データの圧縮装置は、直交 変換手段の出力を変更可能な量子化特性のもとで 量子化する複数の量子化手段と、これら量子化手 段のそれぞれから出力される複数系統の量子化出 力のそれぞれを可変長符号化して複数系統の圧縮 画像データを出力する可変長符号化手段と、 上記 複数系統の圧縮画像データのそれぞれ符号量を検 出しそれぞれの変動を抑圧する方向に各量子化手 段の量子化特性を変更する符号量制御手段と、上 記複数系統の圧縮画像データのそれぞれを復号し

て複数系統の復号画像データを出力する局所復号 手段と、上記複数系統の復号画像データのそれぞ れと原画像データとの差分を検出し複数系統の圧 縮画像データのうち検出した差分が最小の復号画 像データを発生させるものを選択して出力する出 力選択手段とを備えている。

本発明の一実施例によれば、上記複数の量子化 手段は、量子化ステップの変更が可能であると共 にこの量子化ステップを符号量制御手段の制御に 基づき変更する第1の量子化手段と、空間高調波 の次数のうち所定の次数よりも高いものを量子化 の対象から除外することが可能であると共にこの 所定の次数を符号量制御手段の制御に基づき変更 する第2の量子化手段と、量子化ステップを空間 高調波の次数の増加に応じて変更可能な割合で増 大させることが可能であると共にこの増加の割合 を符号量制御手段の制御に基づき変更する第3の 量子化手段を備えている。

以下、本発明の作用については、以下の実施例

と共に詳細に説明する。

(宝烧例)

第1図は、本発明の一実施例に係わる画像デー タの圧縮装置の構成を示すプロック図であり、「 Nは圧縮対象の動画データの入力端子、 1 は D C T部、2A, 2B, 2Cは量子化部、3A, 3B, 3 C は可変長符号化部、 4 A , 4 B , 4 C は符号 量制御部、5はセレクタ、OUTは圧縮動画デー 夕の出力端子である。

更に、第1図において、6はメモリ、7A,7 B, 7 C は可変長符号復号部、8 A, 8 B, 8 C は逆量子化部、9A,9B,9Cは逆DCT部、 10A, 10B, 10Cはメモリ、11A, 11 B, 11 Cは減算部、12は出力選択部である。

入力端子INから供給されるフレーム構成のデ ィジタル動画データは、DCT部1において複数 のブロックに分割されつつ各ブロックごとにDC T(雕散コサイン変換)され、空間高調波の係数 に変更される。このDCTの詳細については、必 要に応じて、前述の各特許出願の明細書などを参

特開平4-177990(3)

暇されたい。 D C T 部 1 から出力される各空間高 調波の次数の変換係数は、量子化部 1 A. 1 B. 1 Cに供給され、量子化される。各量子化部にお ける量子化の手法としては、前述の特顧昭62-913850号の明細書に開示されたようなベク トル量子化の手法ではなく、前述の特願平2-1 84242号の明細書に開示されたような通常の スカラー量子化の手法が適用される。また、各量 子化部においては、量子化ステップが入出力レベ ルに依存しない一定値に保たれる直線量子化が行 われる.

ただし、量子化部2A.2B及び2Cは、異な る手法により量子化特性の変更が可能な構成とな っている。すなわち、量子化部2Aは量子化ステ ップの変更が可能な構成となっており、量子化部 2 B は量子化対象の変換係数の空間高調波の次数 のうち所定の次数よりも高いものを量子化の対象 から除外する(打切る)ことが可能な構成となっ ている。更に、量子化部2Cは量子化ステップを 空間高調波の次数の増加に応じて変更可能な割合 される量子化出力は、それぞれの後段に配置され た可変長符号化部3A、3B、3Cのそれぞれに おいて可変長符号化され、3系統の圧縮データと

量子化部2A、2B、2Cのそれぞれから出力

で増大させることが可能な構成となっている。

なってセレクタ5の三つの入力端子の一つに供給

符号量制御部 4 A は、可変長符号化部 3 A から 出力される第1の系統の圧縮データの符号量を検 ·出し、その変動を抑圧する方向に量子化部 2 A の 量子化特性を変更する。すなわち、符号量制御部 4 A は第1の系統の圧縮データの符号量が所定の 目標値よりも増加すると量子化部2Aの量子化ス テップを大きな値に変更し、逆に圧縮データの符 号量が目標値よりも減少すると量子化ステップを 小さな値に変更する。量子化部2Aの量子化ステ ップが大きな値に変更されると、量子化出力が低 下する。後段の可変長符号化部3Aでは、発生頻 度の低い低レベルの量子化出力ほど短い符号が割 当てられるため、骨子化ステップの増大に伴い可

変長符号化部3Aから出力される圧縮動画データ の符号量 (ビット量) が減少する。

符号量制御部4 B は、可変長符号化部3 B から 出力される第2の系統の圧縮データの符号量を検 出し、その変動を抑圧する方向に量子化部2Bの 骨子化特性を変更する。すなわち、符号骨制御部 4 B は、第 2 の系統の圧縮データの符号量が所定 の目標値よりも増加すると量子化部 2 Bの量子化 打切り次数を低下させ、逆に圧縮データの符号量 が目標値よりも減少すると量子化打切り次数を高

符号量制御部4 C は、可変長符号化部3 C から 出力される第3の系統の圧縮データの符号量を検 出し、その変動を抑圧する方向に量子化部.2 Cの 量子化特性を変更する。すなわち、符号量制御部 4 C は、第 3 の系統の圧縮データの符号量が所定 の目標値よりも増加すると空間高調波の次数と共 に量子化ステップの増加する割合を増加させ、逆 に圧縮データの符号量が目標値よりも減少すると 次数と共に量子化ステップの増加する割合を減少

させる。

上記符号置制御部4A、4B、4Cによる量子 化ステップや量子化打切り次数などの量子化特性 の変更量は、圧縮データの符号量と目標値とのず れの大きさに応じた値に設定される。また、この 量子化特性の変更は、データの適宜な区切り、例 えば1フレーム分のデータごとに行われる。

上記復号化による圧縮処理と並行して、入力端 子INに供給される圧縮対象の原動画データがメ モリ6に書込まれる。

一方、可変長符号化部3Aから出力される第1 の系統の圧縮データは、可変長符号復号部7A、 逆量子化部8A及び逆DCT部9Aから成る第1 の系統の局部復号部に供給され、圧縮前の動画デ - 夕に復元されてメモリ 1 0 A に書込まれる。ま た、可変長符号化部3Bから出力される第2の系 統の圧縮データは、可変長符号復号部7B、逆量 子化部8B及び逆DCT部9Bから成る第2の系 統の局部復号部に供給され、圧縮前の動画データ に復元されてメモリ10Bに書込まれる。 さらに、

特開平 4-177990 (4)

可変長符号化部3Cから出力される第3の系統の 圧縮データは、可変長符号復号部7C、逆量子化 部8C及び逆DCT部9Cから成る第3の系統の 局部復号部に供給され、圧縮前の動画データに復 元されてメモリ10Cに書込まれる。

減算部11Aの一方の入力端子にはメモリ 6 か ら銃出される原動画データが供給されると共に他 方の入力端子にはメモリ10Aから読出される複 合動画データが供給される。また、減算部11B の一方の入力端子にはメモリ6から読出される原 動画データが供給されると共に他方の入力端子に はメモリ10Bから読出される複合動画データが 供給される。さらに、滅算部11Cの一方の入力 端子にはメモリ6から読出される原動画データが 供給されると共に他方の入力端子にはメモリ 1 0 Cから読出される複合動画データが供給される。 メモリ6とメモリ10Aからの読出しタイミング は、画面内の同一画素データが同時に減算部11 Aの各入力端子に供給されるように調整されてい る。メモリ6とメモリ10B、メモリ6とメモリ

従って、減算部11A.11B及び11Cのそ れぞれの出力端子からは、各系統の動画データに ついて原画素とこれが一旦圧縮を受けたのち局部 復号部によって復元されたものとの差分が出力さ れる。出力選択部12は、減算部11A, 11B ,11Cから出力される各系統の画素データの差

10Cからの銃出しタイミングについても同様で

ある.

分を所定のデータ量(例えば1フレーム分のデー 夕量)にわたって積算する。各系統の積算値は、 これが小さくなるほど、歪みが少なく忠実度の高 い圧縮データが得られていることを意味する。従 って、出力選択部12は上記積算値が最小の系統 の圧縮動画データが出力端子OUTに出力される ようにセレクタ5を制御する。この結果、出力端 子OUTからは、圧縮対象の画面に応じて最も忠 実度の高い圧縮画像データが出力される。

以上、量子化ステップ可変、量子化打切り次数 可変及び空間高調波の次数に応じた量子化ステッ プ可変特性を有する3種類の量子化部を設置する

構成を例示した。しかしながら、上記3種類のう ち2種類の量子化部を設置したり、あるいは他の 適宜な方法によって量子化特性を可変する他の種 類の量子化部を設置する構成とすることもできる。 (発明の効果)

以上詳細に説明したように、本発明に係わる画 像データの圧縮装置は、可変量子化特性のもとで 量子化され可変長符号化された複数系統の圧縮画 像データのそれぞれの符号量を検出しそれぞれの 変動を抑圧する方向に各量子化手段の量子化特性 を変更する符号量制御手段を備える構成であるか ら、各系統共に符号量をほぼ一定に保つことが可 能になり、再生側の負担が軽減されるという効果 が寒される。

さらに、この画像データの圧縮装置は、複数種 類の量子化手段によって複数系統の圧縮画像デー 夕を作成し、それぞれを局部復号部で復元したも のと原画像データとを比較して差分が最小の系統 を選択的に出力する構成であるから、画面の状態 によらず常に最適の圧縮画像データを得ることが 可能となり、高品質の圧縮が実現できるという効 果がある。

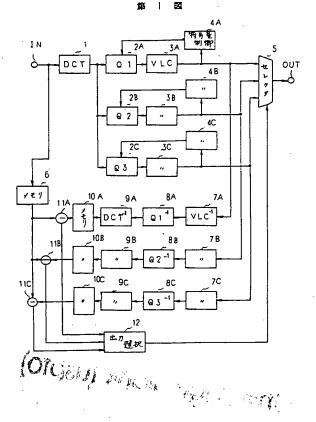
4. 図面の簡単な説明

第1図は本発明の一実施例に係わる画像データ の圧縮装置の構成を示すプロック図である。

IN・・・圧縮対象の動画データの入力端子、 1 · · · D C T 部、 2 A . 2 B . 2 C · · · 量子 化部、 3 A. 3 B. 3 C · · · 可変長符号化部、 4 A, 4 B, 4 C···符号量制御部、5··· セレクタ、6、10A、10B、10C・・・メ モリ、 T A 、 T B 、 T C · · · 可変長符号復号部、 8 A, 8 B, 8 C · · · 逆量子化部、9 A, 9 B, 9 C··· 逆D C T 部、11A, 11B, 11C ・・・減算部、12・・・出力選択部、OUT・ ・・圧縮動画データの出力端子。

特許出願人 日本電気ホームエレクトロニクス 株式会社

代理人弁理士櫻井俊彦



This Page Blank (uspto)